

外部評価結果対応票（内部評価結果と異なる3事業）

事業名	事業概要	内部評価	外部評価	再評価	委員の意見	対応策
やっしきまつり事業交付金 【生涯学習課】	やっしきまつりの活動費の交付	維持	事務改善	事務改善	① 活動費がまつりの開催自体に使われており、今のままでは、まつりの発展性が見込めない。まつりより子どもたちなどやっしき踊りの底辺拡大に向けた予算の使われ方を考えるべきである。若い人を巻き込むという視点からよさこいとの連携を模索するなどの改善も検討してはどうか。 ② 鯖江の伝統的な踊りとして残るのは良いが、鯖江地区だけのまつりとなっている傾向も認められる。他地区も巻き込むような仕組みを作って、裾野を広げてほしい。 ③ まつりの広報、周知ができていない印象がある。実行委員会の立ち上げが遅いという意見もあるので、PRの仕方を含め、実行委員会の体制を見直す必要がある。	① 一昨年から実行委員会が子ども会や小学校などを対象に「やんしきおどり」の出前講習を実施していますが、さらにDVDの配布や子どもたちを対象とした講習機会を増やすことで踊ることができる子どもたちの育成を図ります。よさこいについては、例年、本番前の時間帯で出演いただいておりますが、より連携を深めることについて実行委員会と協議し、底辺拡大に努めていきます。 ② 実行委員会の立ち上げが遅いことによるPR不足が要因と考えられます。実行委員会体制の見直しとともに各種・各地区の団体、組織、企業等への充分な働きかけを通し、夏を代表する市のまつりと認識されるような仕組みを実行委員会と協議します。 ③ 市壮年グループ連絡協議会が主管している実行委員会体制について、できるだけ早い立ち上げを促すとともに、企画内容の充分な検討や周知・広報の充実等について、実行委員会と協議します。

外部評価結果対応票（内部評価結果と異なる3事業）

事業名	事業概要	内部評価	外部評価	再評価	委員の意見	対応策
日野川砂礫河原再生事業 【土木課】	砂礫河原再生:砂礫河原化検討調査、砂州の切下げ・掻き起し、みお筋造成、樹木伐採、親水体験（学ぼう！遊ぼう！河原へGO!）：川流れ体験、鮎釣り、水質・水生生物調査、ボート体験	維持	事務改善	事務改善	① 日野川の優れた河川景観を知るという本来の目的が、子どもたちにしっかり伝わっていないように思われる。事業を継続する場合はミニレクチャーなどを通して、事前に知ってもらってから川で体験してもらうなどの工夫が必要である。日野川に親しむという点で、年間を通しての事業展開はどうか。 ② イベント自体は、ふるさとの川を知ってもらうという要素はあるものの、砂礫河原の再生とは特に関連性がないように思う。砂礫河原の再生は治水事業として、イベントと切り離して行うことも検討する必要がある。	① イベント前に参加者、特に子どもたちに対し、勉強会の開催等を通して、ふるさとの川の本来の姿に興味を持てること、思わぬ水の事故から身を守るノウハウを習得できることなど、有意義な体験型事業であることを周知していきます。また、年間を通しての事業展開については、3月のさけの稚魚放流時や、4月の菜花まつりなどを活用するなど、年間を通して本イベントの趣旨を伝えていきます。 ② 体験型イベントの開催を通して、子どもたちが川へ足を運び、川遊びをしながら川への興味や関心を深めるとともに、砂礫河原の再生と後世にふるさとの川を継承することの大事さをPRしていきます。

外部評価結果対応票（内部評価結果と異なる3事業）

事業名	事業概要	内部評価	外部評価	再評価	委員の意見	対応策
2K540 鯖江ものづくりいいもの見本市【商工政策課】	首都圏でものづくりのまち鯖江、職人のまち鯖江をPRすることにより、鯖江の認知度、イメージアップを図り、消費者の購買、鯖江への誘客へとつなげる。 JR 御徒町高架下の「ものづくり」をテーマにした施設 2K540 のイベントスペースで、鯖江の地場産業である眼鏡・繊維・漆器について1週間にわたりPRする。職人が作り上げた製品の展示、職人による実演を行うほか、来場者がものづくり体験を行うコーナーを設け、ものづくりの楽しさ、難しさを肌で感じてもらう参加型のイベントにする。	維持	内容拡大	内容拡大	① 来場者や体験参加者に関して、外国人やリピーターがいるとのことだが、アンケート等を実施していない。意義あるイベントなので、今後の拡大も視野に入れて実態の把握に努めてほしい。 ② 北陸新幹線開通、福井国体開催を見据えて、エリアで連携して事業を行い、鯖江のブランド化を進めることが大切である。今後も長期的に産地情報の発信を行うほか、産官連携の観点から、イベントでの出店者から負担金を徴収するなど、事業戦略を進めてもらいたい。	① 今後は来場者へのアンケート等を実施することにより、より効果的なものづくり産業のPRのあり方を検討します。 ② 首都圏でものづくりのまち鯖江のPR事業として行ってきました「2K540 鯖江いいもの見本市」を伝統工芸やものづくり産業が集積する丹南地域等で連携し、首都圏や全国の大都市圏で広域連携事業として開催します。

外部評価結果対応票（内部評価結果と同様の3事業）

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
公民館合宿通学事業 【生涯学習課】	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。	維持	① ボランティアで成り立っている事業だが、ボランティアの負担が大きいことや地域間で温度差があるように思われる。事業の継続性を保つためには、ボランティアと関係者に対して啓発を行うことや、ボランティアの意識向上や新たな参加者の開拓など工夫が必要である。 ② 今後、国、県の補助費が無くなった場合、独自の財源確保について検討すべきである。 ③ 社学連携という観点から、各実行委員会で報告書を作成し、学校へのフィードバックを行うことによって、学校としての事業のとらえ方を把握しておくことも必要である。	① 各地区での反省会の意見を尊重しながら、ボランティアとして参加する各種団体や関係者の理解をより深めるとともに、保護者層や子ども会、学生、青年層など、各地区の特性に応じた新しいボランティア層と幅広い層の開拓を工夫します。 ② 地域の教育力向上の有効な手段の一つであり、市単独事業として継続します。 ③ 事業後の報告会（反省会）には、学校関係者も出席しており、意見を聴取しています。また、事業報告書については実行委員会や学校等に配布し、次年度以降の事業に活かすよう努めます。

外部評価結果対応票（内部評価結果と同様の3事業）

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
男女共同参画推進大会 （フェスタ）開催事業 【女性活力・人権推進室】	① 男女共同参画推進に関する関係者や市民が参加し、男女共同参画推進大会（フェスタ）を開催する。 ② 夢みらい館・さばえを男女共同参画の拠点施設としての周知を図るための男女共同参画拠点化フェスタを開催する。	維持	① 集客に関して、動員として団体参加の割り当てがあるなど、一般市民の集客がどれぐらいあるか疑問がある。集客の面でもっと努力してほしい。 ② 鯖江市として男女共同参画のビジョンを、指定管理団体と連携して実現する必要がある。目標像としてのビジョンを踏まえた形での継続をお願いしたい。	① 集客については、一般市民向けに市広報やホームページ、新聞などの媒体によるPRを継続して行います。また、各種団体の会員等への情報発信力が男女共同参画ネットワークの強みであることから、会員はもとより、その家族・友人等の参加が得られるよう、早めの情報発信に努めます。さらに、幅広い年代の市民が大会に興味を持ち参加できる内容を、市と受託事業者が協働で検討し、魅力ある大会になるよう努力していきます。 ② 市と指定管理団体が、第4次鯖江市男女共同参画プランの内容を情報共有し、夢みらい館・さばえが男女共同参画の学習・活動・交流の拠点施設であるという位置付けを明確にしたうえで、事業に取り組んでいきます。

外部評価結果対応票（内部評価結果と同様の3事業）

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
さばえ菜花まつり開催事業 【農林政策課】	さばえ菜花を使用したなばな食堂、物販、無料体験ブース、菜花クイズラリー、サクラマス放流、ニューススポーツ体験、ミニ電車、ファミリーマレットゴルフ教室、おもしろ自転車体験会ほか	維持	① 他事業、イベントとの連携を模索してほしい。 ② 堤防に菜花を植えるという点について、種の管理、安定性という観点から植物の専門家の意見を取り入れることが必要である。	① 他事業、イベントとの連携について、さばえ菜花まつりは市民団体等を主体とした実行委員会形式をとっています。まつりの開催目的は、さばえ菜花を切り口とした地産地消の推進ですが、実行委員の多くのブースやイベントでは、開催目的に共感する所属団体の活動とコラボレーションした内容となっており、今後もよりお互いに相乗効果が得られるようなまつりとなるよう努めていきます。 ② さばえ菜花の種子の管理等については、食用の薬物野菜用の種子は種苗会社で生産委託し、菜花米や水田等の景観用の種子は特定の農家に生産委託し、採種後は県の発芽試験を受けています。なお菜花米の水田の菜花は結実前に緑肥として土壌に鋤き込んでいます。ご指摘の堤防の菜花は、市民主役の観点から、まつりの開催、種取り、種まきの一連の活動を通してさばえ菜花を切り口とした地産地消を推進しようとするものです。今後は、種取り、種まきについて県、JAの営農部門などの指導を仰ぎ、市民運動として取り組んでいきます。